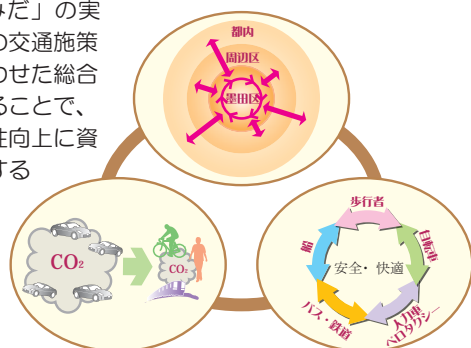


1. 観光まちづくり総合交通戦略の策定の目的

新タワーを起爆剤とした「国際観光都市すみだ」の実現をめざし、複数の交通施策を効果的に組み合わせた総合的な戦略を策定することで、今後の都市の回遊性向上に資することを目的とする

区内外の回遊性の向上



都市活動における環境負荷の低減 安全で快適な移動環境の形成

2. 検討範囲

総合交通戦略では、墨田区を訪れる観光客を中心に、区民の区内外にわたる交流も想定した範囲とする



3. 検討の流れ

上位計画・関連計画の整理 現況調査と課題整理

観光まちづくり総合交通戦略

総合交通戦略のコンセプト

総合交通戦略の基本方針

観光回遊モデルの設定

総合交通戦略の施策展開

有識者会議 → パブリックコメント

最終報告 (平成 20 年 1 月)

4. 総合交通戦略のコンセプト

多様な機会を創造する 人と地球にやさしい交通の実現

人や環境にやさしく持続可能な交通機関の更なる充実を図り、便利で快適な移動手段を提供することによって、国内外にわたる人々の交流を促進し、もてなしや出会いの機会を創出する

5. 総合交通戦略の基本方針

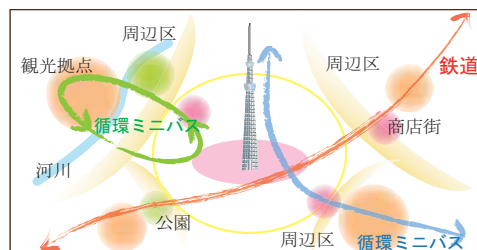
- 公共交通機関の更なる充実
- 多様な交通手段の提供
- 快適な交通環境の形成

6. 観光回遊モデルの設定

公共交通ネットワークを利用した「広域観光」

【回遊イメージ】

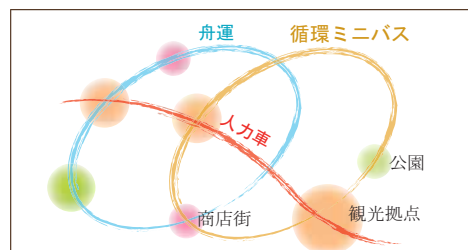
鉄道やバスなどの充実した公共交通ネットワークを活用した、広域的な観光地めぐりの一環として、墨田区を訪れる



魅力的な交通手段を利用した「体験型観光」

【回遊イメージ】

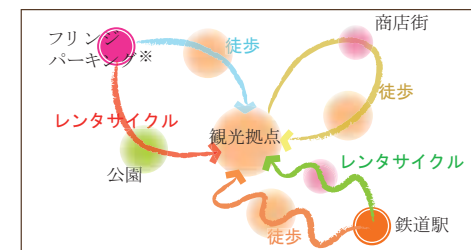
デザインが特徴的な循環ミニバス、水辺からの風景が斬新な舟運、もてなしに直接触れられる人力車など、乗ること自体が魅力となる交通手段を体験しながら、区内及び周辺区の観光地をめぐる



自分のスタイルでめぐる「街歩き観光」

【回遊イメージ】

鉄道駅や駐車場から徒歩やレンタサイクルに切り替えたり、観光拠点間を徒歩で移動したり、思い思いのスタイルで周辺の観光資源を楽しむ



※ フリンジパーキング：自動車交通が集中する目的地や都心の外縁部に設ける駐車場のこと

7. 総合交通戦略の施策展開

国際観光都市としてふさわしいまちづくりにあたり、ハード面、ソフト面にわたり検討すべき多様な交通施策を体系的に整理する

施策展開イメージ (案)



公共交通機関の更なる充実

【鉄道網の充実】

- ・地下鉄8号線(有楽町線)の延伸(豊洲~押上~野田市)
- ・地下鉄11号線(半蔵門線)の延伸(押上~松戸)

【路線バスの充実】

- ・路線バスの新設・再編
- ・バス停の機能強化(地域観光情報の提供等)

【公共交通の利用価値の向上】

- ・交通結節点機能の強化
(乗り換えシステムの充実、ユニバーサルデザイン※1化等)
- ・既存の交通機関と連携した運賃制度の導入
(循環ミニバス・舟・レンタサイクル等)
- ・自家用車の周辺駐車誘導
(駐車場と一体となったレンタサイクル施設整備等)
- ・観光施設との連携による特典付与

快適な交通環境の形成

【安全で快適な歩行環境の形成】

- ・コミュニティ道路(歩行者優先道路)の整備
- ・休日における歩行者専用道路化
- ・歩道等公共空間における街歩き環境の向上
(お休みベンチ、照明等人にやさしい工夫)
- ・街歩きスポットの整備(休憩・情報提供施設)
- ・公共交通関連施設におけるバリアフリー化の促進

【案内・誘導手段の充実】

- ・観光客にやさしい総合的な観光情報の提供
(IC端末等の活用、街歩きガイドによる街歩き案内)
- ・わかりやすい案内サインの設置
(ピクトグラム※3等)

多様な交通手段の提供

【自転車利用環境の充実】

- ・レンタサイクルシステムの導入
(斬新なデザインを有する魅力的な自転車の使用等)
- ・サイクルステーションの整備
(案内施設や利便施設等を併設した駐輪場)
- ・自転車通行環境の向上
(歩行者空間との分離等)

【新たな交通機関の導入】

- ・循環ミニバスの導入
- ・河川を活用した新たな交通機関の導入
- ・観光客にとって魅力的な交通機関の導入
(人力車、ペロタクシー※2、オープンバス、水陸両用車等)

交通施策の推進目標スケジュール

基本方針	項目別方針	短期			中期	長期	
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 【新タワー開業】	平成24~28年度 【オリンピック:平成28年度】	平成29年度~
公共交通機関の充実	鉄道網の充実	「地下鉄8・11号線促進連絡協議会」における検討や事業化に向けた手続き等					
	路線バスの充実	バス路線の検証、バス停の機能強化に向けた検討	バス路線の新設・再編、バス停の機能強化				
	公共交通機関の利用価値の向上	交通結節点機能強化に向けた検討	交通結節点機能強化(バリアフリー化等)				
	公共交通機関の利用価値の向上	既存の交通機関と連携した運賃制度の導入に向けた検討	既存の交通機関と連携した運賃システムの構築				
多様な交通手段の提供	自転車利用環境の充実	自家用車の周辺駐車誘導に向けた検討	周辺駐車誘導(併設駐輪場、割引制度)の実施				
	新たな交通機関の導入	公共交際利用に対する関係者調整等導入に向けた検討	割引システムの構築、種別PR(社会実験の活用等)				
		レンタサイクルシステムの導入に向けた検討	レンタサイクルシステムの構築				
		新たな交通機関の導入	魅力的なサイクルステーションの整備	魅力的なサイクルステーションの整備			
快適な交通環境の形成	安全で快適な歩行環境の形成	循環ミニバスの導入に向けた検討	循環ミニバスの導入				
	案内・誘導手段の充実	舟運の導入に向けた検討	舟運の導入				
		新たな交通機関の導入	船着場整備	船着場整備			
		新たな交通機関の導入	魅力的な交通機関の導入に向けた事業者の募集等	新たな交通機関の導入			
快適な交通環境の形成	安全で快適な歩行環境の形成	コミュニティ道路整備に向けた検討	コミュニティ道路としての舗装・速度抑制機能の整備				
	案内・誘導手段の充実	休日における歩行者専用道路化に向けた検討・関係者調整	歩行者専用道路化(社会実験の活用)				
		歩道等公共空間における歩行者専用道路化	お休みベンチ、照明等人にやさしい施設の整備				
		歩道等公共空間における歩行者専用道路化	街歩きスポットの整備				
案内・誘導手段の充実	歩道等公共空間における歩行者専用道路化	お休みベンチ、照明等人にやさしい施設の整備					
	歩道等公共空間における歩行者専用道路化	街歩きスポットの整備					
	歩道等公共空間における歩行者専用道路化	街歩きスポットの整備					
	歩道等公共空間における歩行者専用道路化	街歩きスポットの整備					

交通戦略の効果的な実現に向けて

- ・街歩き観光を促進するPR・イベントの実施
- ・地域との協働による快適な歩行者空間の確保
- ・社会実験の活用(観光施設との連携による特典付与等)
- ・特区制度の活用(二人乗り自転車等の規制緩和)

※1 ユニバーサルデザイン: できるだけ多くの人が利用可能であるように製品、建物、空間をデザインすること
 ※2 ペロタクシー: VELO(ペロ)とはラテン語で自転車を意味し、ドイツで開発された自転車のタクシー
 ※3 ピクトグラム: 絵文字、絵ことばの総称。道路交通標識、空港や駅の案内板、非常口の表示など誰が見てもすぐに意味がわかるデザインの視覚記号



◇各交通施策は区が主体的に取りまとめたものですが、国・都・区・民間事業者等が主体的に、あるいは相互の連携により推進するものを含んでおり、今後、変更が生じる場合があります。